



CSR報告書 2021

株式会社 **デンソートリム**
DENSO TRIM CORPORATION

目次

1. 会社概要	2
1-1. 会社概要	
1-2. トピックス	
2. 社長メッセージ	4
3. 製品概要	5
3-1. 二輪製品	
3-2. 四輪製品	
4. デンソートリムのCSR	7
4-1. 基本的な考え方	
4-2. デンソープラステナビリティ方針	
4-3. デンソープラス社員行動指針	
4-4. デンソープラススピリット	
5. 社会性報告	9
5-1. お客さまとともに	
5-2. 社員とともに	
5-3. 地域・社会とともに	
6. 環境報告	20
6-1. 環境方針	
6-2. 環境監査体制	
6-3. 環境推進体制	
6-4. 環境行動計画	
6-5. 法規順守状況	
6-6. 生産環境負荷削減	
6-7. 2020年度環境活動状況まとめ	

本社敷地全景

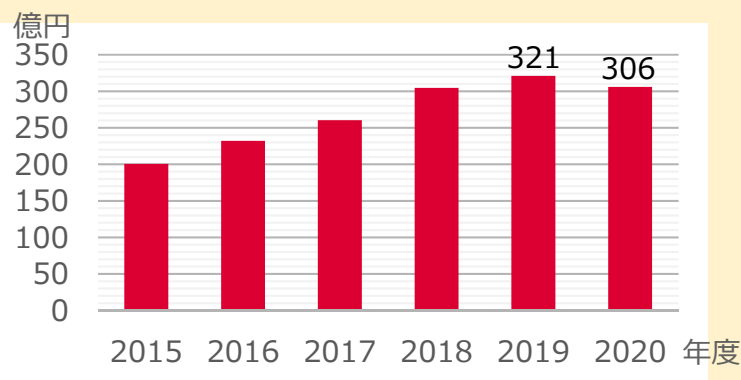


1. 会社概要

1-1. 会社概要

社名	株式会社デンソートリム
所在地	〈本社/本社工場〉 〒510-1222 <small>みえけん みえぐん こものちよう おおごほら あかさか</small> 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460 〈大安工場〉 〒511-0296 <small>みえけん いなべし だいあんちようもんぜん</small> 三重県いなべ市大安町門前1530 (株式会社デンソー 大安製作所内)
設立	1990年3月30日
操業	1991年11月2日
代表	取締役社長 山下洋一
資本金	3億1千万円
従業員数	937名(2021年3月末現在)
事業内容	・二輪車用発電装置 ・電子式エンジン制御装置 ・排気センサ ・排気温センサ ・ハイブリッド車用電池監視装置 ・灯火制御装置 ・PTC素子応用製品) ・EGRガス温度センサ ・クランク角センサ ・燃料ポンプ制御装置 などの製造

売上高



1-2. トピックス

関連するSDGs



(1) 社名変更 **TOPIC**

デンソートリム創立30周年を迎えたことを期に、2020年4月1日に社名をデンソートリム株式会社から「株式会社デンソートリム（英語表記 DENSO TRIM CORPORATION）」に変更しました。あわせて会社ロゴも変更しました。



社名変更後の看板（4月）

(2) 大安工場開所 **TOPIC**

2020年7月1日からデンソー大安製作所内にデンソートリム大安工場を開設し、コップ型センサの生産を開始しました。この工場開設は今後、排気センサの組付全般をデンソートリムが担当させて頂く事業の第一ステップとなります。大安工場開設にあたり、6月30日には安全祈願、翌7月1日には開所式を執り行いました。



テープカットの様子（7月）

(3) 本館工場ロビーリニューアル **TOPIC**

2021年3月31日、本社工場にて「本館ロビー」をリニューアルオープンしました。

お客様を大切にお迎えするため、新しいロビーはお客様に「くつろいでいただけるような温かみのある空間をイメージしています。携帯電話、ノートパソコンなどを外出先でも快適に使っていただくための備品も常設し、ご来社いただくお客様には、大変ご好評いただいております。



リニューアル後のロビー（3月）

(4) 新型コロナウイルス対策 **TOPIC**

管理・間接部門におけるテレワークの推進、土曜日振替出勤制度導入を行い、かつ従来は同じ部署毎に固めていたデスクを同じ部署の人が固まらないよう分散配置しました。また、飛沫感染防止のため内製のパーテーションを設置しました。社内随所に手指消毒液を設置し「ウイルスを持ち出さない、持ち込まない」ことを徹底しました。



内製パーテーションを設置した事務所

2. 社長メッセージ

デンソートリムはデンソーグループの一員として、二輪車用エンジン制御製品・四輪車用エンジン制御製品・電子製品の開発・設計・生産といった事業を担っています。

今、デンソーグループは「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命としています。この使命を達成するために、デンソーグループの全ての従業員が、グローバル企業としてふさわしい行動を、社会やステークホルダーとのつながりの中で実践できるように「デンソーグループサステナビリティ方針」を定めました。

デンソートリムもこの方針に従い、各国・地域における誠実な企業行動の実践を通じ、社会の持続的な発展に率先して貢献していきます。

そして、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）*」や、2016年に発効されたパリ協定を達成するために、会社スローガンを「技術と技能と感性を磨きお客様に喜ばれるモノづくり」としました。

環境においては、排気ガス低減やハイブリッド等の地球環境に優しい製品の開発・設計・生産や工場における省エネルギー活動等に取り組んでいます。また地域社会との共生にも取り組み、交通安全や環境保全のボランティアにも積極的に参加しています。

社員を大切に活動としては、健康経営に努め「健康経営優良法人」認定を取得し社員の健康管理に意を払うことや、技術棟・モノづくり棟に技術・技能を磨き上げる道場を設置し社員の能力を高める活動を強化しています。

ところが、2020年初頭より世界的に新型コロナウイルス(Covid-19)感染が拡大しグローバル経済に大打撃を与え、人々の生活を一変させる事態となっています。企業としてしっかりとした対策を取り事業活動を継続することも重要なサステナビリティ経営と捉え、社員一丸で社会の持続的な発展に貢献していきます。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



2021年9月
株式会社デンソートリム
取締役社長 山下洋一

*持続可能な開発目標（SDGs）とは？

2015年9月に150を超える首脳が参加する「国連持続可能な開発サミット」の成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択。人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。

この目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。「サステナビリティ」を考える上での世界の共通言語として位置付けられるものです。

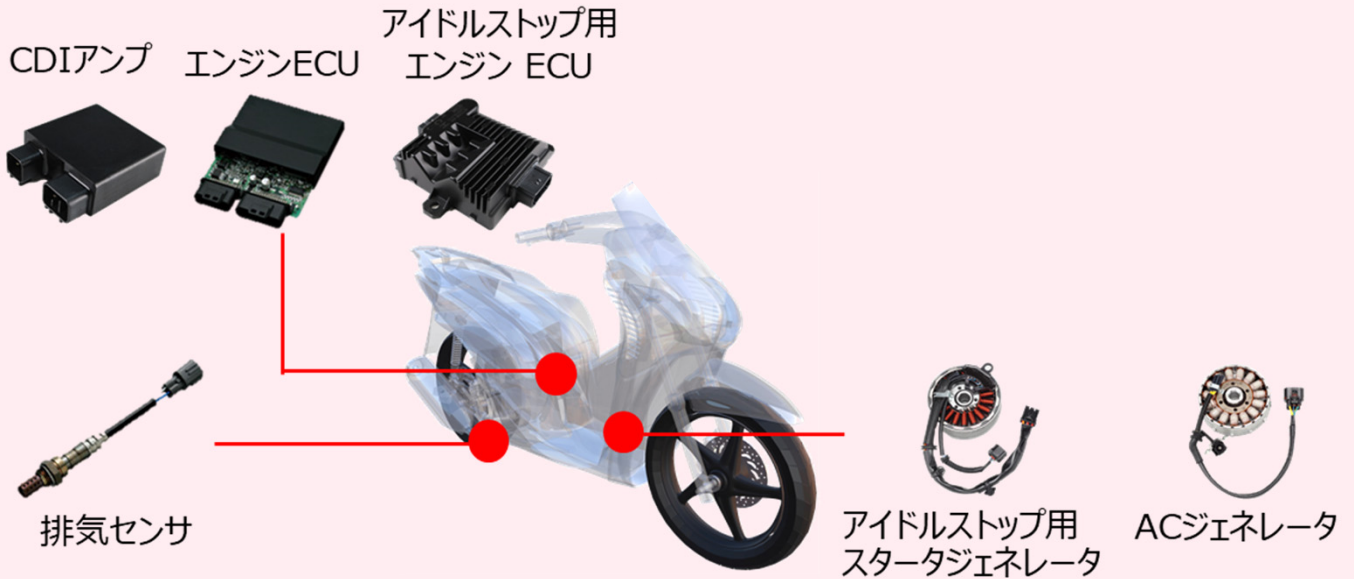


3. 製品概要

デンソートリム設立のきっかけとなった二輪車用ACジェネレータ（交流発電機）は、会社設立以来つくり続けており、研究・開発から製造まで一貫体制で生産しています。

現在では「エンジンECU・ランプECU・ハイブリッド車用制御装置」などの電子製品や「O2センサ」などのセラミック製品も担当し、二輪車・四輪車などに欠かせない製品を生産しています。

3-1. 二輪製品



ACジェネレータ

永久磁石を用いた、二輪車用発電機であり、電気を電装部品に供給し、かつバッテリーに充電するために必要な製品。加えて、エンジン回転を安定させるフライホイール機能を持ち、エンジンの最適制御を可能とする独自技術の突起を備え、OBD2規制対応に貢献しています。

また世界各地で材料を現地調達しており、部品輸送のCO2排出低減に寄与しています。近年、固定子のコイルにアルミ線を採用した発電機を独自開発し、軽量化にも貢献しています。

アイドルストップ用スタータジェネレータ

ACジェネレータに、エンジン始動のスタータ機能を追加した製品。エンジン直結でブラシレスのため、摩耗部がなく、始動が早く、静音性に優れています。

二輪では希少なアイドルストップを可能とし、低燃費化に貢献しています。

また、回転子は接着剤を用いない構造としており、加熱硬化を廃止した環境に配慮できる製品です。

製品を標準化し、お客様に貢献しています。

エンジンECU

燃料をエンジンにタイミングよく、そして最適に噴射するために電子制御を行います。燃焼をコントロールすることでエンジン本来の性能を高め、高出力化、燃費向上、クリーンな排気を実現します。

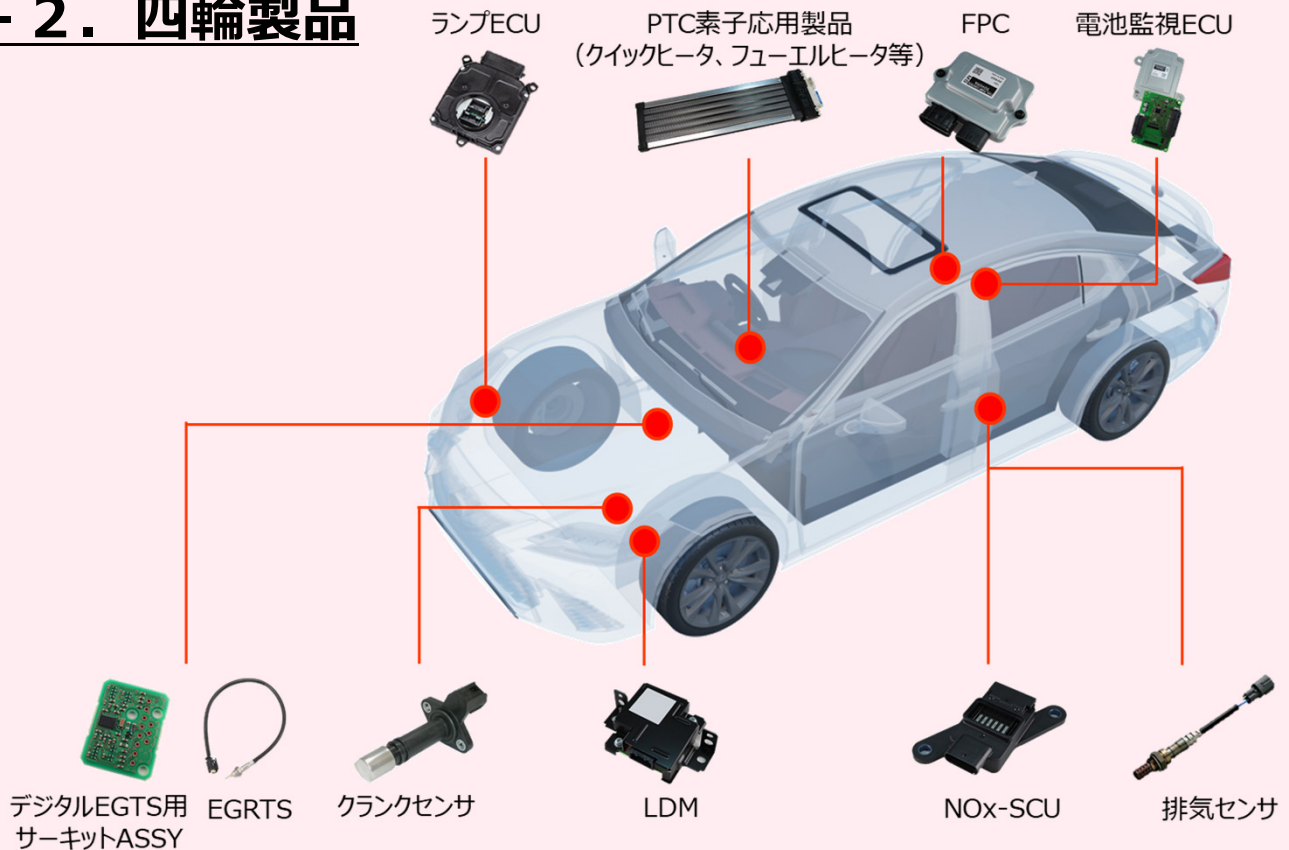
CDIアンプ

エンジン回転数に応じてエンジンの点火時期を適正に制御する二輪車用電子制御装置です。燃費向上と排気ガスのクリーン化に貢献します。

排気センサ

排気ガス中の酸素（O2）濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ（ECU）で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。

3-2. 四輪製品



排気センサ

排気ガス中の酸素（O₂）濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ（ECU）で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。

PTC素子 応用製品

自己温度制御特性を有したセラミック素子（PTC素子）が組み込まれたヒータです。自動車用エアコンユニット内に搭載され、エンジン水温が低い状態でも車室内を素早く暖め、快適な空間を提供します。

クランクセンサ

エンジン回転数とクランクシャフトの角度位置を検出するセンサです。エンジン制御ECUが最適な点火時期制御、燃料噴射量制御等を実施できる状態にします。

EGRガス温 センサ

温度と相関のある抵抗値を示すセラミック素子が組込まれた温度センサです。車の排気ガス中の窒素酸化物低減の為に、排気ガスの一部を吸気側へ再循環させるEGR（Exhaust Gas Recirculation）システムにおいて、再循環させた排気ガスの温度をモニターします。

ランプECU

LEDヘッドランプの点消灯制御と光軸制御を行なう電子制御装置です。夜間走行の視認性を大幅に高め、省エネに貢献しています。

L D M

LEDヘッドランプの明るさを一定に制御する電子制御装置です。夜間走行の視認性を確保し、省エネに貢献しています。

電池監視 ECU

ハイブリッド車の電池ユニットの電圧、電流、温度を監視する電子制御装置です。HV-ECUに監視情報を伝えます。

NOx-SCU

車両から排出される有毒なNO_xを検知するセンサが組み込まれた電子制御装置です。車両から排出されるNO_x排出量を低減させ厳しい排気ガス規制に対応する事で地球環境保全に貢献します。

デジタルEGTS用 サーキットASSY

車両から排出される排気ガスの温度センサを組み込んだ電子制御装置です。エンジンからの排気経路にセンサを配置する事で省燃費に貢献します。

F P C

エンジンへの燃料供給量を制御する電子制御装置でエンジンECUからの信号により燃料ポンプへ最適な燃料を供給し燃費向上に貢献します。

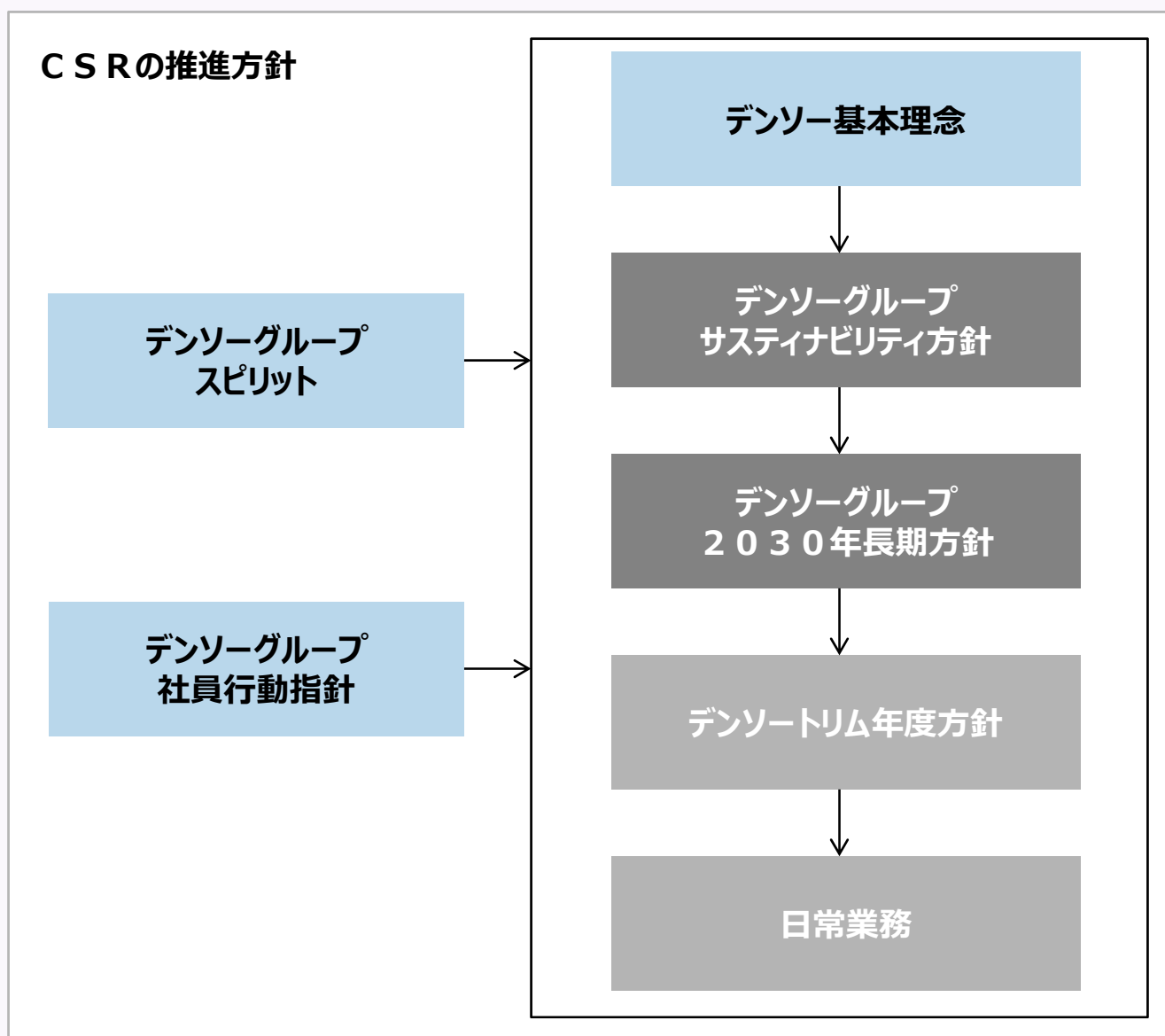
4. デンソートリムのCSR

4-1. 基本的な考え方

デンソーグループは、基本理念の中で「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」ことを使命として掲げています。この使命を実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、その基盤となるのが「社会から信頼・共感される企業行動」です。

これを世界中で事業活動を行うデンソーグループ各社が実践していくため、2006年4月、「デンソーグループ企業行動宣言」を策定し、ステークホルダーへの責任を明らかにしました。さらに2018年12月には、「デンソーグループサステナビリティ方針」へと改定し、社会の持続的発展へ率先して貢献していくことを宣言しました。このようにデンソーグループはCSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）を経営の中核に据え、事業活動を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

そして、2017年に策定された長期経営方針「デンソーグループ2030年長期方針」を受け、私たちデンソートリムはデンソーグループの一翼を担う企業として、デンソーグループ企業行動指針に基づき、計画と目標を立てCSR活動を推進しています。



4-2. デンソーグループサステナビリティ方針

デンソーグループは、「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命としています。この使命を達成するために、デンソーグループの全ての従業員が、グローバル企業としてふさわしい行動を、社会やステークホルダーとのつながりの中で実践できるように「デンソーグループサステナビリティ方針」を定めました。

【宣言文】（抜粋）

私たちは、社会の持続的な発展に率先して貢献します。

- (1) 変化を先取り、技術や生産方法あるいは組織、マネジメントなどの変革を通じて、社会に有用かつ安全な商品・サービスを開発、提供し、社会的課題の解決に努めます。
- (2) 国の内外において、関係法令、国際ルールとその精神を順守し、各国・地域の文化・歴史を尊重しつつ、高い倫理観をもって、健全かつ公正な事業活動に努めます。
- (3) 労働時間、休日、賃金などの基本的労働条件に関する各国・地域の法令を順守するとともに、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境の維持・向上に取り組みます。
- (4) 社会との共生をめざし、事業活動を行うあらゆる国・地域において、独自にまたはパートナーと協働しながら積極的によりよい社会づくりに参画し、その発展に貢献します。

4-3. デンソーグループ社員行動指針

社員一人ひとりがデンソーグループの一員として、各ステークホルダーにどのような心構えで、どのような行動をとるべきか、そのガイドラインを示したものです。社員一人ひとりが社会に果たす役割を常に意識し行動するよう、指針の浸透を図っています。

項目

- I. デンソーグループの一員として
- II. 生き生きとした職場をめざして
- III. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために
- IV. 仕入先との共存共栄をめざして
- V. 株主の信頼と期待に応えるために
- VI. 社会と共生するために

4-4. デンソーグループスピリット

真のグローバル企業として成長・発展するため、グループ全体で共有すべき価値観・信念を明示したものです。

企業成長の原動力は「先進」「信頼」「総智・総力」
デンソーグループスピリットは、創業以来、暗黙知として連綿と継承されてきた「先進」「信頼」「総智・総力」の考え方を2004年に明文化し、あらゆる分野で取り組みを推進する原動力として機能するため、17カ国語に翻訳し、グローバルな共有に注力しています。

5. 社会性報告

5-1. お客さまとともに - 品質 -

関連するSDGs



品質を支えるのは、人の力。品質第一主義を基本に高品質なモノづくりに努めています。そのため、独自の教育システムを構築して社員教育を推進するとともに、デンソーグループの教育カリキュラムにも参加しています。従業員一人ひとりが必要なスキルを身に付け、お客さまの満足向上につなげています。

(1) 品質保証の基本方針

1. お客様に対する品質第一主義に徹する
2. 仕事の各段階で最初から正しく品質保証する
3. 全員参加による品質管理を推進する

(2) 社員教育

①基伝館（社内教育訓練道場）

モノづくりに必要な知識・技能習得の場としてモノづくり棟2Fに設け、レイアウト自在な運用で、座学（OFF-JT）と実技訓練（ON-JT）を实践、新入社員教育だけでなく、中堅・職制の教育、各種検定訓練、試験を開催し技能人材育成を推進しています。

②階層別教育・職能別教育（全社的に推進する教育）

目指す人材は、「自ら学び、自ら考え、挑戦し続ける人材」とし教育をしています。特に、グローバル対応力強化の為にメニュー作りを強化しています。

階層別教育：役職階層及び管理推進業務指名者に必要な役割意識、意欲の向上
管理手法の習得を図る教育

職能別教育：各職能に必要な専門知識・能力向上を図る教育

	階層別教育 マネジメント	職能別教育 事務分会	職能別教育 技術分会	職能別教育 技能分会
管理職	・LEMS ・部長特訓スクール ・論文執筆 ・課長研修		・新任課長品質 ・新任課長特許/輸出管理	・専門分野管理者教育 (TIE、TPM等)
指導級	・課題形成能力向上 ・MBC ・リーダー強化 ・班長教育		・新任係長品質 ・新任係長特許/国際標準化 /輸出管理	・高度技能研修 ・TIE/PM上級 ・職長教育 ・品質管理 上級
中級	・5等級研修 ・現場力を高める ・人の扱い方 ・課題発表	・5等級研修報告会 ・ロジカルシンキング	・技術検定 ・SQC実践活用 ・原価と原価管理	・基礎技能研修 ・各種安全衛生資格講習 ・TIE/PM 中級 ・品質管理 中級
初級	・問題解決 ・働く心構え	・製品知識 ・業界知識 ・原価基礎 ・トヨタ生産方式	・テクニカルスキル研修 ・品質 ・コストエンジニアリング基礎 ・特許・輸出管理	・TIE/PM 基礎 ・品質管理 初級 ・異常処置 ・職場の基本

③ Q Cサークル

創業時より活動しているQ Cサークル活動は、サークルメンバーの能力向上・自己表現、明るく活力に満ちた生きがいのある職場づくり、お客さま満足の向上及び社会への貢献をめざしています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染防止のため一次的に活動を自粛した期間もありましたが、全社で徹底した3密対策を講じることで早期に活動を再開し、82サークル計747名がQ C手法を活用しながら、管理・改善に取り組みました。

例年参加し数々の賞を頂いてきたQC三重地区・東海地区主催の社外大会へは参加自粛の判断をしながらも、社内においては役員自らが“現地現物現実”で活動の成果を確認するなど、活発なサークル活動を推進しています。



QCサークル活動の様子
※3密対策：衝立(対面・左右)など

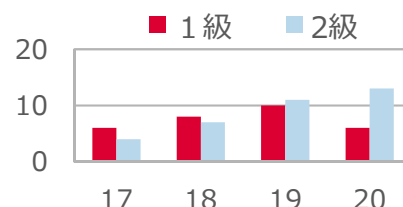


社内大会の様子

④ 社内技能検定

当社では2017年より高度技能集団企業を目指し、社内検定制度を整備・運用しています。この制度は、当社のモノづくりに必要な技能課題を4つ選びだし、それぞれの課題に合格となった社員を製品製造装置オペレータとして資格認定する仕組みで、社員の技能を切磋琢磨し継続的に高めていこうとしています。

本制度は、厚生労働省より特に技能振興上奨励すべきものとして認定され「厚生労働省社内検定認定制度」に登録されました。更に当社から三重県に働きかけて「三重県技能評価認定制度」が創設され、当社社内検定制度が三重県の認定第一号を取得。これにより合格証に鈴木 英敬 三重県知事名が記載される事となり、2020年度の合格者1級6名、2級13名に新たな認定証が授与されました。



社内検定認定者数推移



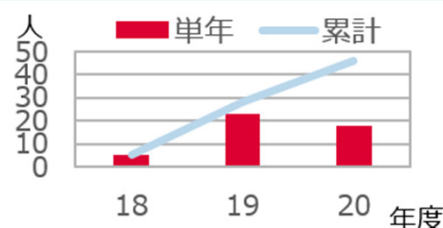
検定試験の様子

⑤ 二輪道場（バイク教室）

二輪車（バイク）用部品の開発・設計に携わる従業員の知識・技能の向上を目的として、2018年に技術棟内に二輪道場を開設しました。

道場では2018年から定期的に二輪車用部品の開発・設計に携わっている社員が参加する「バイク教室」を開講しており、参加者が自分たちの手で実物の二輪車を分解・再組立てしたり、システム動作を確認する等して、二輪車の構造に関する見識を深めています。

2020年度までに延べ46名がこの教室を受講しており、今後も順次技術系の社員を中心に受講していく予定です。



バイク教室受講人数推移



バイク教室の様子

5 - 2. 社員とともに

関連するSDGs



(1) コミュニケーション

① 全社朝礼

例年は毎月第一稼働日に全社員が集まって全社朝礼を開催していましたが、新型コロナウイルスの感染防止及び通信環境への配慮から、事前に録画した内容を自席や職場で聴講する形へ変更しました。当日夜勤の方や聴覚障がい者の方々にも内容を伝えるべく、全社朝礼ダイジェストを作成し、各職場での展開を実施しています。



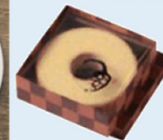
全社朝礼配信の様子

② 創立30周年記念品配布

2020年3月30日に創立30周年を迎えました。新型コロナウイルスの影響で創立30周年関係のイベントは中止となりましたが、従業員やそのご家族の方々に30周年を迎えたタイミングで感謝の思いを伝えるため、「創立30周年記念品」の30周年記念コースターとバームクーヘンを全従業員に配布しました。



記念品配布の様子（6月）



③ 元気プロジェクト

2016年4月より「お客様から信頼され、従業員が誇りに思える、明るく・楽しく・元気な会社」を目指す、元気プロジェクト活動を開始しました。活動に自主的に参加している社員とともに、様々な取り組みを行っています。2020年度には新型コロナウイルスの影響で活動が減りましたが、以下のような活動を行いました。今後も当社が明るく元気な会社になれるよう、活動を実施していきます。



七夕フォトコンテスト表彰(左)・グランプリ作品(右)

7月 七夕フォトコンテスト

12月 手作り門松設置

従業員への感謝プレゼント、
社名ロゴ入りどら焼き配布



プレゼント配布の様子（12月）

④社員親睦

より良い職場環境を築くべく、社員同士や社員と経営層との親睦を図る場を積極的に設けています。これらは係長以下の全従業員で構成される「従業員会」が中心となり運営しています。例年はより多くの企画を開催しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、2020年は以下の企画のみの開催となりました。

【2020年開催親睦企画】

11月 トリム健康ウォーキング



健康ウォーキング（11月）

⑤永年勤続表彰

勤続20年を迎え、永く会社に貢献している従業員の労をねぎらい、さらなるモチベーションアップに繋げるため、創立25周年を迎えた2015年より永年勤続表彰を毎年継続して行っています。2020年5月には、今年勤続20年を迎えた14名を対象に賞状と記念品が贈呈されました。

（2）社外表彰

④グローバルデンソー省エネポスターコンクールで入賞 **TOPIC**

デンソーグループでは毎年6月を環境月間と定めており、それに合わせて様々な環境に関する取り組みを行っています。

その活動の一環としてデンソー本社、海外拠点、国内グループ会社を対象に省エネポスター作品の募集がありました。このコンクールで当社社員の浅野 泰幸さんの作品が、応募総数1402作品の中で優れた34作品に与えられた「地域賞」を受賞しました。本コンクールでの当社の受賞は5年連続となります。



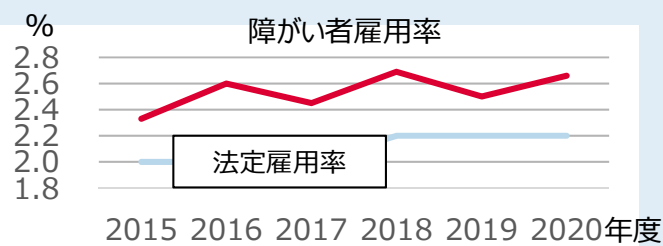
受賞作品（左）、受賞記念撮影（右）

(3) 多様な人々が活躍できる職場づくり

当社はダイバーシティ推進を重要な経営戦略の一つと位置づけ、すべての従業員が長く活躍できるよう様々な活動を推進しております。

① 障がい者雇用

聴覚障がい者の方同士の横の繋がりを持つ場として、聴覚障がい者だけの懇親会を定期的に開催し、そこで会社や職場への要望等も確認・対応しています。



② ワークライフバランスの支援

多様なライフスタイルの社員にとって働きやすい会社となるため、仕事と私生活の両面を支援するための柔軟な制度を整備しています。

育児中も仕事を続けられるよう、法定以上の休職制度勤務体系を整備しています。なお、男性の育児休暇取得も推奨しています。

育児休暇制度利用者の声

職場の温かい後押しもあり、3人目の誕生をきっかけに初めて育児休暇を取らせて頂きました。出産後の妻へのフォローが出来たのはもちろんですが、ゆとりを持って子供と向き合える時間を取れた事が何より嬉しかったです。まだまだ世間の理解は少ないかもしれませんが、より多くの男性が育児休暇を取れるといいなと思います。



デジタル推進室 出口さん

③ テレワーク(在宅勤務)制度の導入

職業生活と家庭生活の両立に資する雇用環境の整備の一環として、テレワーク(在宅勤務)制度を導入しました。

同制度を活用することで、育児・介護・家事の時間を確保しながら働くことや、台風などの災害時でも自宅で安全に業務を行うことができます。

④ シニア社員の活躍推進

今後増加が見込まれるシニア社員がいきいきと働き、その豊かな経験と能力を最大限発揮できる環境や制度の整備を推進しています。

- i ライフマネジメント研修 (定年後の生きがい、健康、生活設計を50歳で考える)
- ii 振り返り研修 (ライフマネジメント研修受講後 5年で、生活設計を再度考える)
- iii ネクステージ面談 (定年後の働き方を55歳から上司との面談を通じて考える)
- iv キャリアアソシエイト制度(意欲・能力のある方の60歳以降の活躍を推進する)
- v 65歳以降雇用(個人スキルを有する方の指導員制度あり)

キャリアアソシエイト制度利用者の声

19年11月に60歳定年、製造部長の役職を終え、キャリアアソシエイトとして新たな役割を頂きました。今までの組織の長という最前線ではありませんが、若手社員に寄り添い、困り事の吸い上げ、問題解決、組織力向上に繋がるように心掛けております。今は現役社員・会社成長の一助になれる事がやりがいと感じ、仕事を進めております。



製造1部 谷崎さん

⑤ 外国籍人材の採用

国籍にとらわれない採用活動を行っており、2020年度には中国出身の1名を技術系総合職として採用しています。

(4) こころとからだの健康管理

昨年に引き続き2年連続で「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されました。20年度に保健師が社内に常駐できる健康管理室を新たに設置し、社員の健康管理を支える基盤となる体制づくりに取り組みました。

健康経営優良法人 認定証

健康管理室の様子

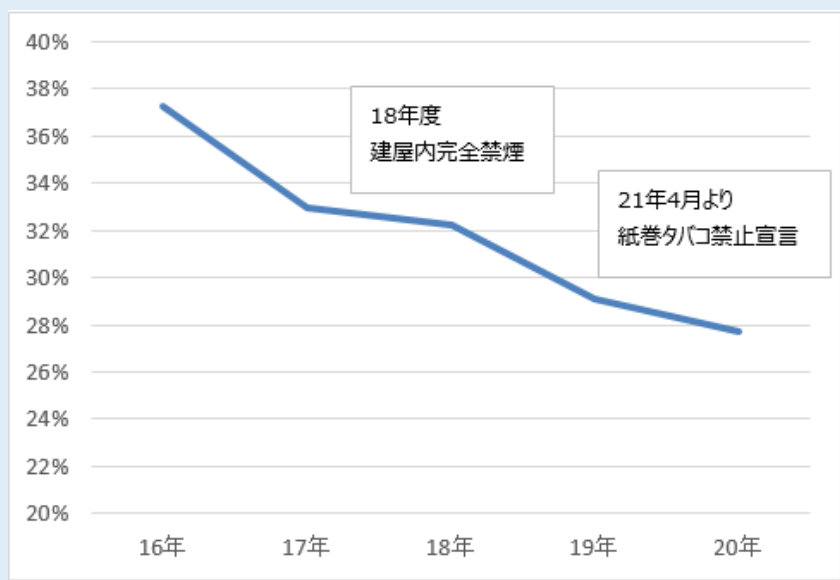


社員の心身両面の健康づくりを進めるにあたり、取り組みを優先したのは保健師による健康診断結果に対する受診勧奨と面談の強化、高ストレス者の全員面談や復職支援制度の見直しなどとなります。専門職によるきめ細かなケアを開始しました。

また喫煙・受動喫煙抑制に向け、21年4月から敷地内紙巻タバコ禁止の宣言を行い引き続き禁煙を促しています。

増加傾向にある生活習慣病（脂質異常症・高血圧・糖尿病など）の予防として行われている特定保健指導についてはコロナウイルス感染対策として全てWEBで完結する指導へ切り替え、対象者に対して、食生活の改善と運動習慣の定着に向けた教育指導を行っています。

喫煙率推移



(5) 新型コロナウイルス感染症対策

当社では新型コロナウイルス感染症に対して2020年初旬から可能な限りの対策を実施しています。

① 事務所

ソーシャルディスタンス確保/パーテーション設置/ テレワーク推奨

テレワークの推奨と併せ座席間隔を可能な限り広げ、
全座席前面・間にパーテーションを設置しています。



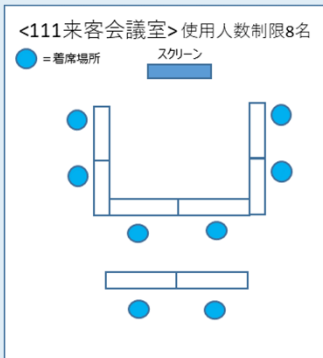
当初は簡易パーテーションを設置しておりましたが、従業員同士の表情が見えるよう透明のパーテーションに変更しました。



② 会議室

ソーシャルディスタンス確保/パーテーション設置 収容人数制限

(1)Zoom、Teams会議推奨と併せ、全会議室で (2)全会議室・事務所の換気能力を
座席間2mを確保してパーテーションも設置しています。厚生労働省推奨基準まで引き上げました。



111 来客会議室

当室の換気能力
1回/15分

(厚生労働省の基準：1回以上/30分)

③ ロビー

パーテーション設置/面会記録の徹底

(1)検温器、消毒機の設置と併せ、 (2)面会記録を残す運用を徹底しています。
パーテーションも設置しています。



ロビー 面会記録 (本館・技術棟・モノ棟)

面会日	開始	終了	DN・リム代表者	面会企業名・面会者	検温結果	備品消毒
5/16	10:00	10:20	総務課 トリム太郎	〇〇電気 △△△△	36.3℃	レ
/	:	:			℃	□
/	:	:			℃	□
/	:	:			℃	□
/	:	:			℃	□
/	:	:			℃	□
/	:	:			℃	□
/	:	:			℃	□
/	:	:			℃	□
/	:	:			℃	□

④ 食堂

ソーシャルディスタンスの確保/パーテーション設置/ 黙食の徹底



- (1) 食堂入場時の密回避の為、足元に待機位置の明示を貼り付けています。
- (2) 事務所・会議室と同様にパーテーションを設置しています。
- (3) 食事中は会話を控えるよう、“黙食”ポスターと音声アナウンスで呼びかけています。



もく しょく

黙食

にご協力ください

**食事中の会話が
飛沫感染リスクになります**

このリスクは外食に限らず、学校や職場でも同様です。
食堂では「黙食」を推奨しております。
当面はお食事中（ノーマスク時）の会話はお控えください。

⑤ 喫煙所

ソーシャルディスタンスの確保/黙煙の徹底



喫煙中の会話禁止と併せ、ソーシャルディスタンス確保のために、喫煙場に喫煙位置マットを設置しています。

黙煙

会話の際はマスク着用！
喫煙所も「新しい日常」へ

(6) 安全な職場づくり

「安全は全てのものに優先する」を合い言葉に、経営層による安全巡回、安全サークル活動、職場安全診断を始めとする物的対策・啓蒙活動を地道に気を緩めることなく継続しています。また、2017年には「安全道場」を開設し、従業員へ安全に関する体感教育を行っています。これらの施策の結果、操業以来「休業災害以上0」を継続しており、2016年1月18日には第四種無災害記録（2,370万時間）を達成しました。今後も愚直に安全活動に取り組み、「災害ゼロ」を目指します。

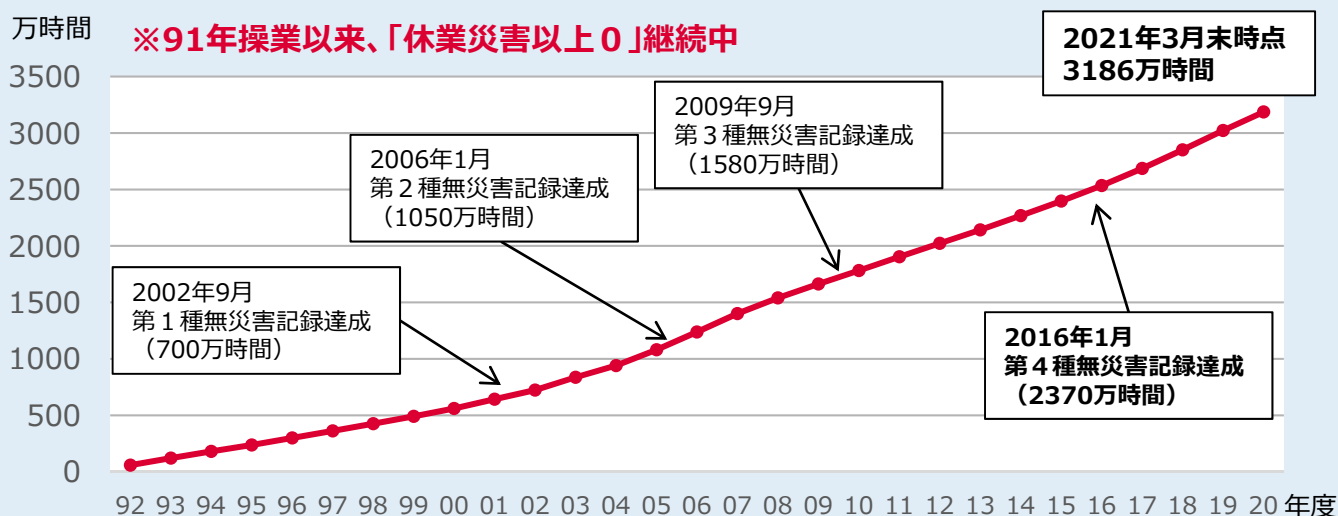
①安全指標（2020年度）

管理項目	目標	実績	評価
重大災害	0件	0件	○
休業度数率	0	0	○
出火事故	0件	0件	○
職業性疾病	0件	0件	○

②安全施策

	16年	17年	18年	19年	20年
自発的に安全行動できる意識の浸透	3S 対話 3-3 安全日めくりカレンダー-安全・歩行5訓の徹底				
	安全基本行動の教え込み				
	班長安全宣言				
リスク先取りによる重大災害防止対策強化	公開段取 トップ層による確認				
	トップ安全・5S診断・環境重要設備巡回				
	重大リスク低減安全対策 フォークリフト / 大型開口部 / 成形機 / クレーン / ロータ点検				
	安全装置無効化防止対策 いじり防止ネジ装着				
マネジメントの強化	OSHMS全社活動 / 化学物質強化				
				ISO45001 取得(大安)	

③無災害時間（休業以上）



第四種無災害記録認定証



安全道場外観



経営層による安全診断（公開段取り）

5-3. 地域・社会とともに

関連するSDGs

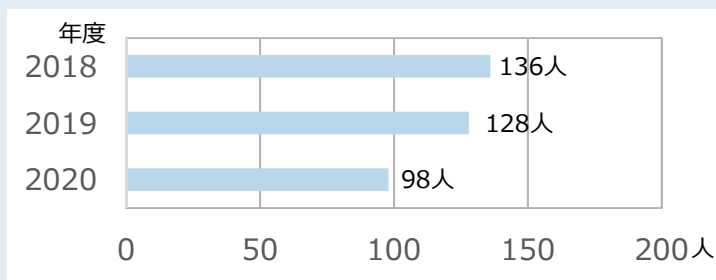


(1) ボランティア活動

当社では地域社会の一員として様々なボランティア活動を行っています。当社はこれらの活動を「デンソーグループ・ハートフルデー」の取り組みとして、今後も大切にしていきたい

① 献血活動

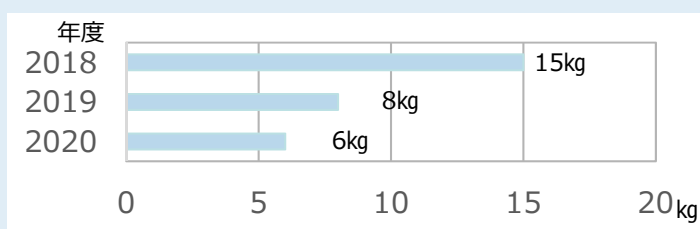
私たちの血液で命を救うことを実践するために、1995年より社内で献血活動を平日の勤務時間内に年2回（春・秋）実施しています。



献血活動の様子（11月）

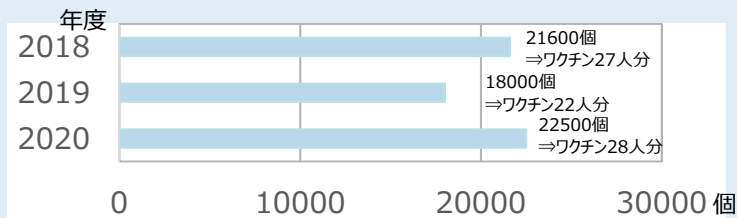
② 空き缶のプルトップ収集（2009年～）

障がいのある子供たちに車いすを贈るためにプルトップ収集を継続しています。自販機や各職場に収集箱を設置し、気軽にボランティアができるようにしています。約200kgのプルトップで車いす1台が贈れます。



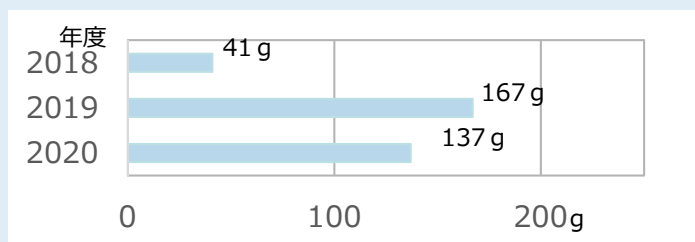
③ ペットボトルのキャップ収集（2010年～）

世界の子供をワクチンで病気から救うために、ペットボトルキャップを収集しています。本館と技術棟入口に収集BOXを設置し、確実に回収できるようにしています。満杯になると（2400個）3人分のワクチンが購入可能となります。



④ 使用済み切手収集（2013年～）

地域の福祉活動推進に役立てていただくために、使用済み切手を収集しています。菰野町社会福祉協議会を通じて福祉用品を贈っています。



(2) 交通安全活動

当社では交通安全行動を率先垂範できる社員づくりをめざすとともに、地域社会の交通安全に貢献していくため様々な活動を行っています。これらの活動を評価いただき、2018年6月に三重県交通安全協会より交通安全優良団体として表彰を受けました。

また、全従業員が飲酒運転を含む悪質運転（デンソーグループでは飲酒運転・無免許運転・ひき逃げ・当て逃げ・暴走行為を悪質運転と呼んでいます）の根絶に努めています。社員一人ひとりが、交通安全行動を率先垂範できるよう努めております。

実施項目		内容
社員への交通安全教育	新入社員の通勤経路同乗指導（4月）	免許取得1年未満の新入社員に対し上司による同乗指導を実施
	交通安全懇談会（月1回）	毎月、交通安全に関する資料を提供し、各職場が話し合いを実施
	交通安全タッチ&コール（毎日）	毎日朝礼時に各職場単位で交通安全10カ条の唱和を実施
	交通安全決起大会（8月・12月）	四日市西警察署交通課長などを講師に招き全員参加で実施
	若年層向け社外交通安全講習（11月）	自動車学校の指導で自分自身の運転を見つめ直し、安全運転の意識を高揚
通勤車両管理	西門立哨（月1回）	当社西門にて通勤車両のルール・マナー状況確認し、指導を実施
	通勤車両チェック（随時）	違法な車両が無いか確認を実施
地域活動	ミルミルウェーブ（年2回）	四日市西交通安全協会主催の、街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施
	地域立哨（月1回）	地元地域での街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施（永井交差点にて）

※2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、上記実施項目の一部を中止しております。



社内トップ立哨



ミルミルウェーブ



交通安全決起大会

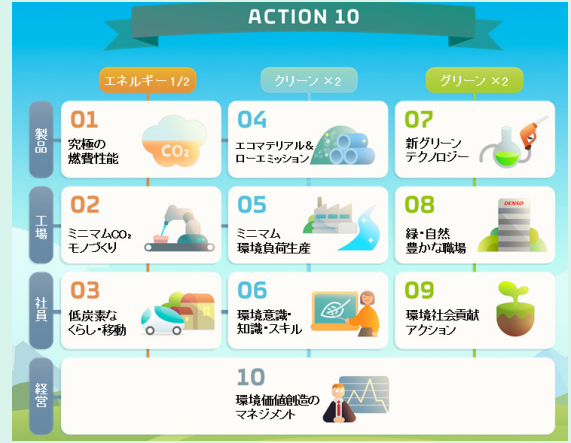
6. 環境報告

関連するSDGs



デンソーグループは、「人と地球にやさしいクルマ」の実現を通じて「先進的なクルマ社会の創造」に貢献できる企業グループをめざしています。そのため、製品・生産にとどまらず事業活動のあらゆる分野で環境負荷を削減すると同時に、世界でトップクラスの環境効率や高い資源生産性を追求しています。あわせて環境保全活動を通じて経済価値を創出する「環境経営」を推進しています。

デンソートリムでは2016年から「次の10年」に向けた長期ビジョンである「デンソーエコビジョン2025」に基づき、デンソーグループ全体で「エネルギー1/2(省エネ)」、「クリーン×2(環境負荷低減)」、「グリーン×2(環境保全)」に取り組み、持続可能な社会の実現に向け、積極的に活動を展開しています。



〔デンソーエコビジョン2025〕

6-1. 環境方針

(1) 理念

当社は鈴鹿山系の麓に位置し、緑豊かな環境に恵まれている。この美しい自然を健全な状態で次世代に引き継ぐよう積極的に「環境保全」に努める。

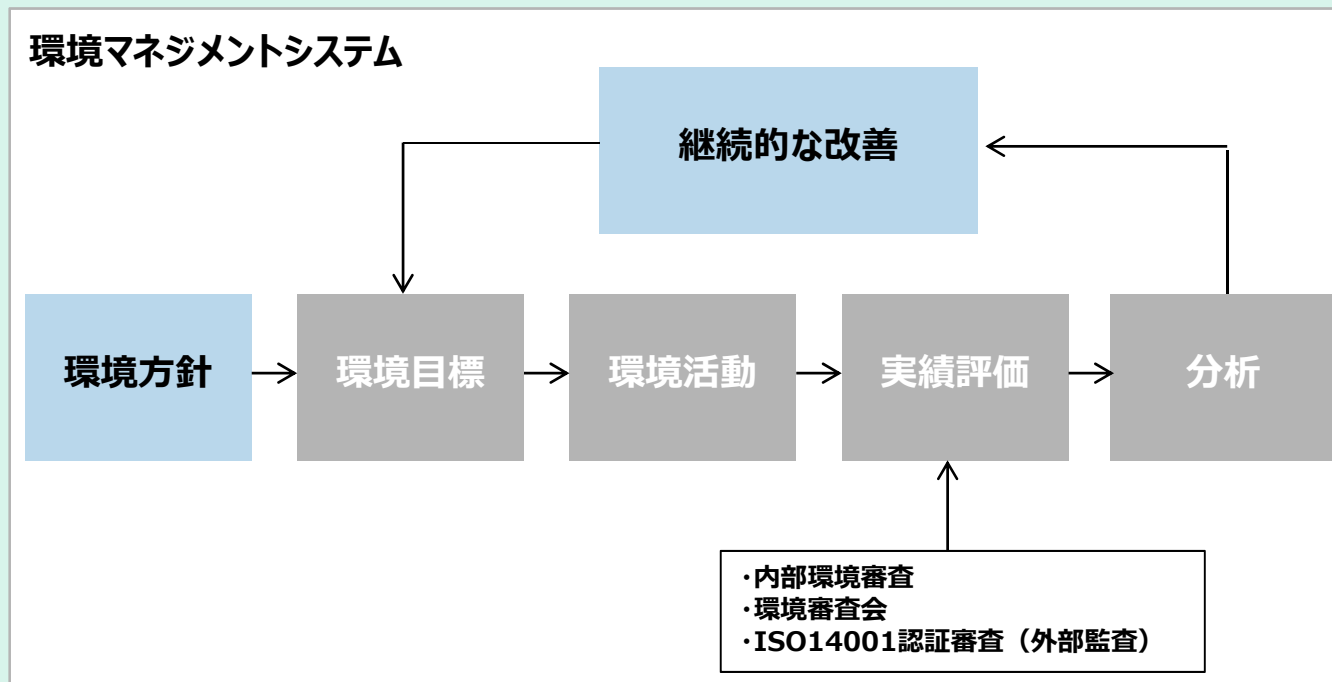
(2) 方針 (骨子)

1. 法規順守と環境汚染の予防等により環境の継続的改善に努める。
2. 製品企画段階から排出物及びエネルギーの低減に取り組み、環境負荷を総合的に低減させる。
3. 環境教育・啓蒙活動を通じ、各業務段階で従業員一人ひとりの環境保全意識を高めていく。
4. 地域社会の一員としての自覚と責任をもち、社会との良好な共生関係を築く。
5. この環境方針は社内外へ公開する。

スローガン：「次世代へ引き継ごう、澄んだ空気と豊かな緑」

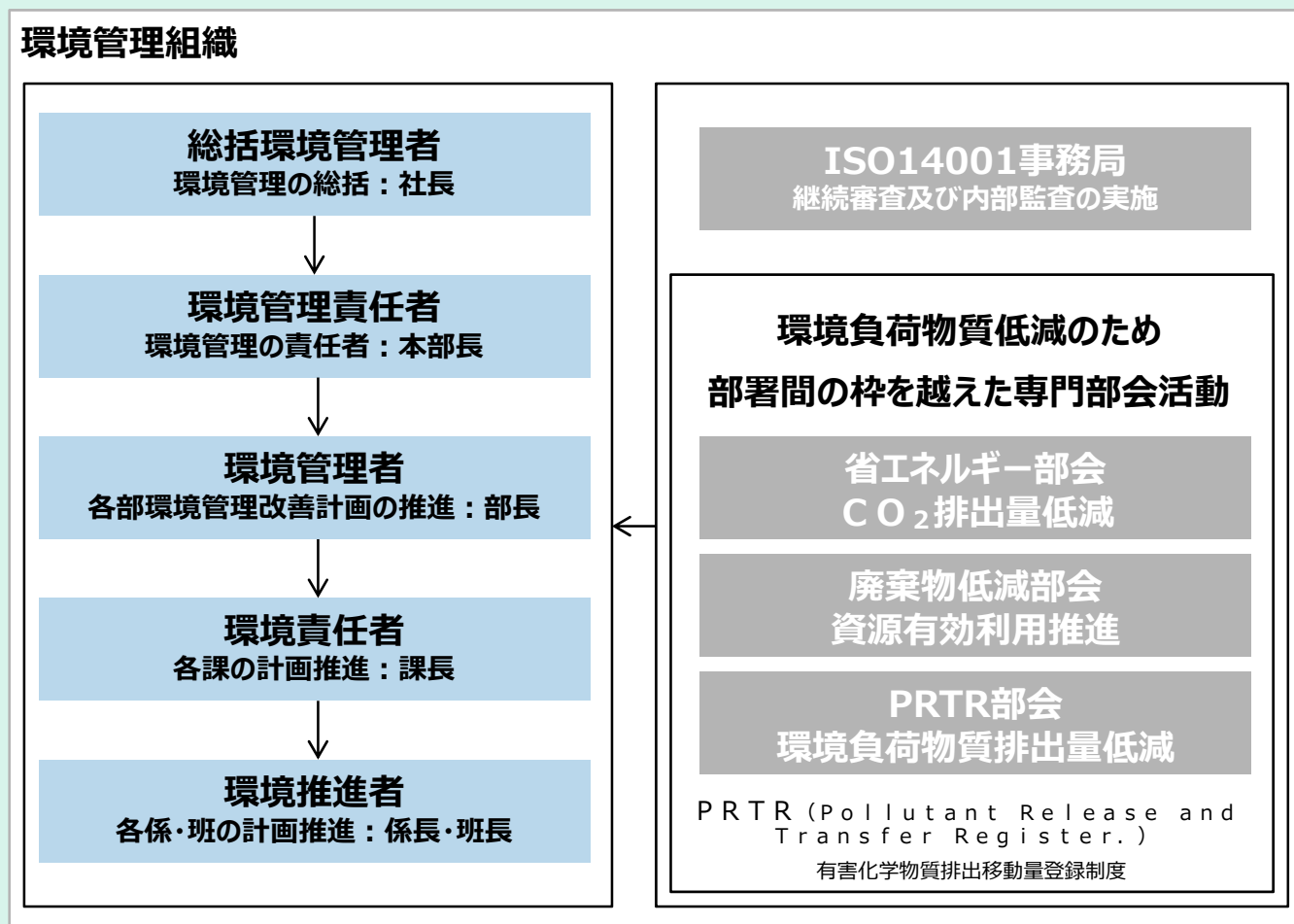
6-2. 環境監査体制

国際規格ISO14001に基づき、「環境マネジメントシステム」を構築しています。



6-3. 環境推進体制

1999年10月に「デンソートリム環境管理組織」を設置し、会社全体として環境問題を審議し、統括する体制を構築しました。同時に、個別の課題を解決するために「専門部会」を設置し、取り組みの強化を図っています。



6-4. 環境行動計画

(1) 2020年度の取組項目と実施事項

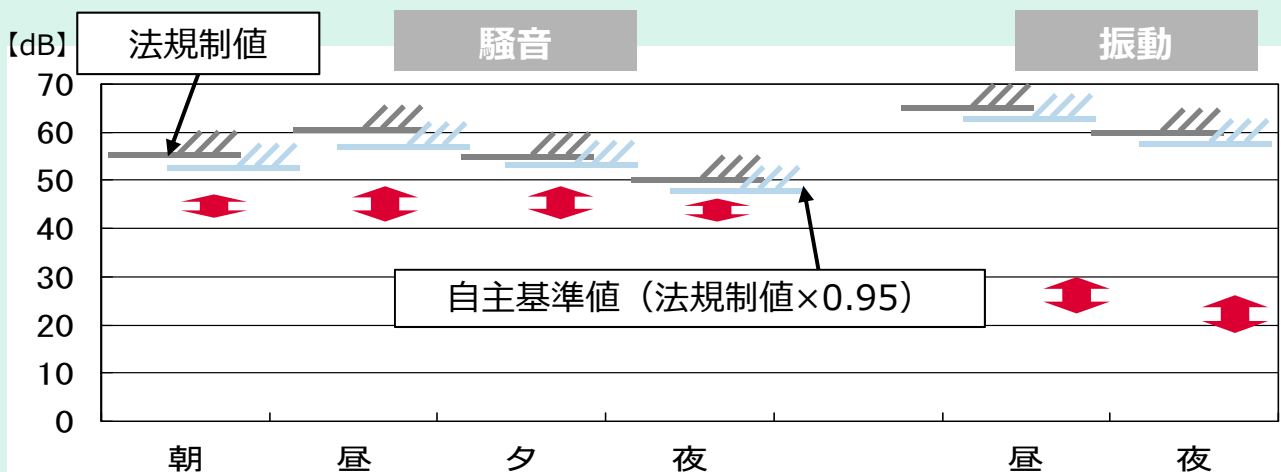
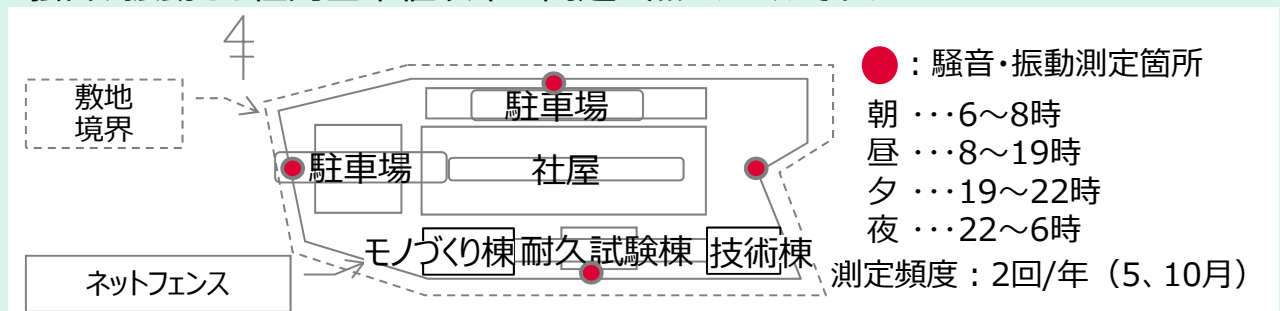
仕事の各段階で環境負荷低減を目指し、具体的な活動項目と目標を定めて、環境保護に取り組んでいます。

デンソー エコビジョン	項目	取組み方針	実施事項
究極の燃費性能	車社会における消費エネルギー製品の開発及び生産	低燃費に貢献する製品の設計及び製造	2輪車用アイドルストップ製品の開発及び生産 低燃費関連製品であるO2センサーやハイブリット関連製品の製造
ミニムムCO2モノづくり	生産CO2削減	省エネルギーの推進	目標：CO2排出量 12年度比▲30%
低炭素な暮らし・移動	業務移動における化石エネルギー使用の低減	社有車更新・導入時エコカー導入	社有車ヘッドドライブレコーダーを装着 エコドライブの推進
エコマテリアル&ローエミッション	グローバル規模の環境負荷物質規制への積極的な切り替え推進	デンソーからの展開事項の順守	デンソー図面指示の順守100%
ミニムム環境負荷生産	排出物削減	排出物削減の推進	目標：前年度実績の維持
環境意識・知識・スキル	環境業務従事者の環境設備・作業リスクの知識・対応力強化	環境重要設備異常処置訓練実施 環境教育の実施	環境重要設備 4施設の訓練実施 1回/年 従業員 2H/人 実施
環境価値創造のマネジメント	環境CSR情報の積極的な発信と地域社会等との双方向コミュニケーションの推進	環境コンプライアンス徹底	環境マネジメントシステムの運用改善 (ISO14001認定更新) 法順守100%

6-5. 法規順守状況

・騒音振動測定結果

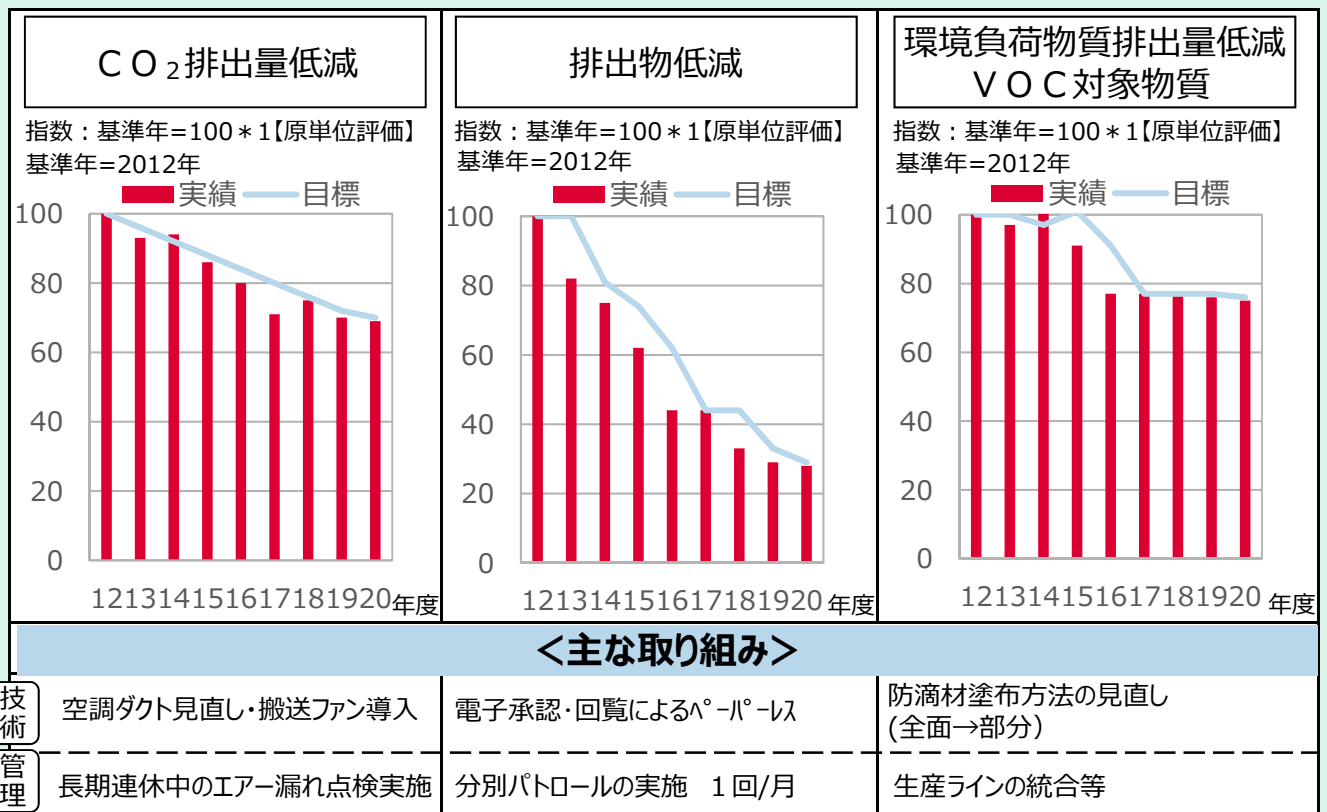
騒音、振動とも社内基準値以下の問題の無いレベルです。



6-6. 生産環境負荷削減

(1) 生産環境負荷の削減活動状況推移について

継続的な改善活動で2020年度目標は達成。さらなる改善に取り組みます。



*1【原単位評価】：生産金額1億円当たりの排出量
 VOC：Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）

6-7. 2020年度環境活動状況まとめ

各環境目標は達成しておりますが、改善の手を緩めず、今後も「地域からより信頼される企業」を目指し、環境保全活動を推進します。

項目	実施事項	目標	2020年度実績	評価
法規則などの遵守	水質、騒音、振動定期測定 届け出報告実施	社内基準値以内 漏れなく実施	全て満足	○
	公害および苦情ゼロ	0件	0件	○
環境負荷の削減	CO ₂ 排出量低減 ・排出量低減	12年度比 ▲30.0%	▲31.2%	○
	資源有効利用推進 ・排出量低減	前年度 実績維持	▲2.0%	○
	・ゼロエミ継続 (埋立廃棄物低減)	150kg/月以下	65kg/月	○
環境行動に関する 地域貢献等	地域活動への積極的な参画 ゴミゼロ活動への参加	4回/年 開催	開催自粛 ※20年度はコロナ 感染拡大防止のため自粛	-
	課単位での環境教育の実施	2H/人・年以上	2H	○

編集後記

当社では、2012年からCSR（企業の社会的責任）への取組みを報告すべく「CSR報告書」を発行させていただいております。本冊子「CSR報告書2021」では、「CSRマネジメント」「社会性報告」「環境報告」の各分野別に、2020年度の活動を中心に紹介させていただきました。

当社は今後も地域社会の一員として、環境・安全活動並びに社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、本報告書をご覧いただいた皆さまから忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いに存じます。なお本報告書は、当社ホームページ（<http://www.densotrim.co.jp/>）に掲載しています。

また、当社はCSR活動についても（株）デンソーと連結経営を行なっております。（株）デンソーの「統合報告書（<https://www.denso.com/jp/ja/investors/library/annual-report/>）」も併せてご覧下さい。

2021年 11月

発行者 **株式会社デンソートリム**
〒510-1222 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460

発行日 2021年11月22日

お問合せ先 株式会社デンソートリム 人事総務部 総務室
TEL 059-391-0011 FAX 059-391-0050

株式会社 **デンソートリム**

DENSO TRIM CORPORATION